

謹賀新年

龍谷寺住職 成田隆真

合掌



太平棗(なつめ)「一粒万倍」

一粒万倍日 (いちりゅうまんばいび)

新しい年が始まりました。

年が改まることで、気持ち切り替わり、新たなことに一歩踏み出す方も多いと思います。

進学、就職、結婚など、長い人生の節目になる時期が誰にでもやってきます。

皆がよりよく生きる希望に燃える新年です。

昔から「一粒万倍日(いちりゅうまんばいび)」と言われる日があります。「一粒万倍」とは、たった一粒の粃(もみ)が万倍にも実り、穂がたわわに実り、素晴らしい稲穂になることを表しています。

「手元にある、わずかな物で始めたことが何倍にも膨らむ」とされ、新しい物事を始めるにはもってこいの日です。

この縁起のいい吉日は、月に4〜6回あるので、「大安」や「寅の日(金運招来の日)」「天赦日(てんしゃび)・百神が天に昇り、天が万物の罪を赦す日」とされ、最大の大吉日」など、ほかの吉日と組み合わせることも多いのが特徴です。逆に仏滅などの凶日と重なると半減してしまうそうです(ウィキペディア参照)。

日本には昔の人の知恵が詰まった二十四節気があります。新しい年に向け、目に見えないものの力を信じ、謙虚な心で事に当たり、幸運を引き入れる良い年にしていきましょう。

平成26年の暦に記されている1月の「一粒万倍日」は、4日(土)・5日(日)・8日(木)・17日(金)・20日(月)・29日(木)です。



・曹洞宗 龍谷寺のはなし
・旅行募集のご案内



龍谷寺本尊
釈迦無尼佛

曹洞宗 龍谷寺のはなし



高階瓏仙禅師
[米寿記念写真]

高階瓏仙禅師と龍谷寺

高階瓏仙禅師は、明治9年12月15日、福岡県永泉寺で誕生され、29歳で日置黙仙禅師に出会い、随身の縁を結び、明治42年には曹洞宗大学教授に就任。日置黙仙禅師が永平寺六十六世に就任されたのに伴い、随員に。大正9年に日置黙仙禅師遷化後、新井石禅師の随員長となり、昭和7年57歳で可睡斎の住職となりました。

この高階禅師は昭和13年ごろに北中支派遣軍慰問として中国上海を訪れた時、龍谷寺三十六世成田芳髓師と出会いました。高階禅師は、ゼロから長徳院を建築し、中国における曹洞宗の布教の実をあげている成田芳髓師の業績を見て、感服。成田師は高階禅師

の高邁な人格、実行力に「人生の師」と仰ぐようになり、交流が始まりました。

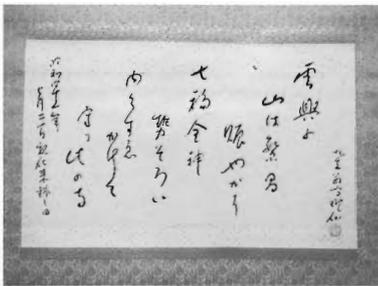
高階禅師は、昭和16年に大本山總持寺、永平寺の貫首となり、昭和43年に遷化するまで、曹洞宗管長を25年務めるといふ大偉業を達成されました。

龍谷寺には昭和30年代、忙しい巡錫を縫ってよく来寺され、紫雲臺(しうんたい)に滞在されました。

当時、成田師は愛知学院の学監としての仕事に忙しく、中村定典尼(現在豊田市延命寺住職)が随員していました。成田師は、高階禅師を目標に歩み、平成8年に總持寺貫首に就任するという仏縁を結んでいます。

今でも龍谷寺

紫雲臺には、高階禅師の写真が飾られ、龍谷寺滞在中に書かれた書も多くあります。



「七福神」が寄進された時、高階禅師が即座にしたためられた書

大環正應禅師17回忌法要と鎌倉・東京の旅

～東京スカイツリーと埼玉・東光寺を訪ねて～

この度、大本山總持寺で大環正應禅師17回忌法要が厳修されることとなりました。檀信徒の方々が1人でも多く随員して頂きたく、本山参拝を計画しました。何とぞ万障お繰り合わせの上、多数ご参加賜りますよう、ご案内いたします。

龍谷寺 成田隆真 合掌

- 日程 平成26年4月12日(土)～14日(月) 2泊3日
- 旅費 49,000円(実際は64,000円のところ、お寺から15,000円補助させていただきます)
- 行程

1日目	4月12日(土)	日進出発8時 → 御殿場・名鉄菜館(昼食) - 鎌倉大仏・鶴岡八幡宮(見学) - 大本山總持寺(泊)
2日目	4月13日(日)	大本山總持寺(大環正應禅師17回忌法要、朝課のお勤め) - 横浜市内(昼食) - 東京スカイツリー(展望台・ソラマチの散策) - 東京グランドホテル(泊) 夕食は「銀座スカイラウンジ」の展望レストランでフランス料理
3日目	4月14日(月)	東京グランドホテル - 巣鴨・曹洞宗高岩寺(とげぬき地藏) - 埼玉・曹洞宗東光寺(参拝・昼食) → 日進帰着19時ごろ

- 募集人員 35人(先着順)※満員になり次第締め切り
- 申し込み 3月20日までに旅費を添えて、龍谷寺(☎0561-72-0012)までお申込みください。
- 旅行企画・実施 (株)ツーリストアイチ

- ・龍谷寺で出合う言葉
- ・日進桜楓霊苑のご案内



龍谷寺で出合う言葉



「梅発清香」

「強正明朗」

「愛山敬賓(けいひん)」

「信為第一」

平成9年、龍谷寺は法覚隆真大和尚の晋山式を控え、新客殿を建設中でした。成田芳髓禅師は、大本山總持寺貫首として多忙を極め、客殿建設の様子は電話で進捗状況を報告していました。

ある日、禅師から電話がかかり、「今からファックスで字を送るから、襖を作ってくれ」とのこと。送られてきた文字は「信為第一」「愛山敬賓(けいひん)」「強正明朗」「梅発清香」の四字熟語でした。

たまたま来寺された中村定典尼に事の次第を話すと、小原村の和紙作家・山内一生先生を紹介してくださいました。

しばらくして山内先生の工房に療養中の妻米子と

伺うと、見事に四字熟語4つの襖紙が漉いてあり、さっそく襖の手配をしました。

「信為第一」とは、信をもつて、第一と為す。禅師が總持寺貫首就任式で「生きる上で大切なのは“信”である」と述べた言葉です。

「愛山敬賓(けいひん)」の山とは寺や家の意味。寺や家に来るお客様をもてなし、敬いましょう。

「強正明朗」とは、強く正しく、明るく朗らかに生きていきましょう。

「梅発清香」とは、梅の花は冬の寒い日々を耐えてこそ、周りによい香りを振りまきます。私たちも梅の花のように、利他行を行いましようということです。

龍谷寺新客殿の襖には、山内一生先生自ら漉いた和紙の襖があり、この言葉が龍谷寺での生活を支えています。ご来寺の折りにご覧頂きたいと思えます。

〔 日進桜楓霊苑のご案内 〕



春は桜、秋は楓を楽しめる日進桜楓霊苑は、開苑以来17年が経ち、約800基が建立されています。当代の住職は38世の成田隆真、36世の成田芳髓は曹洞宗管長と曹洞宗大本山總持寺(横浜市鶴見区)を務めました。南向きの霊苑はお参りの方が絶えず、花の香りが漂う明るい霊苑です。

宗旨、宗派は問いません(ただし、仏教徒の方及、当寺の認める宗派)。第1ブロックから第5ブロックまで様々な広さのお墓があります。

お墓の建立をお考えの方は霊苑現地案内所、または龍谷寺までお問い合わせください。

日進桜楓霊苑

にっしんおうふうれいえん

お問い合わせ / 日進桜楓霊苑現地案内所

☎ 0120-5454-31 ☎ 0561-72-5454

(午前10時～午後4時 定休日 / 毎週水・木曜日)



平成二十六年 龍谷寺 年間行事のごあんない

一月	一日(水)	元旦祈禱
	二日(木)	年始受付、平成26年法事受付
	十三日(祝・月)	成人の日 午前10時から
		大般若祈禱会、コンサートその他
二月	一日(土)から	涅槃図展覧
	十五日(土)まで	開山忌
	十一日(祝・火)	涅槃会(ねはんえ・お釈迦様が亡くなられた日)
三月	十五日(土)	春分の日 午前10時から 春彼岸会法要
四月	二十一日(祝・金)	第16回芳桜茶会 午前10時から午後3時
	五日(土)	成田芳髓禅師17回忌法要
	十二日(土)	成田隆真住職焼香師法要
	十三日(日)	藤島弘法
	十四日(月)	龍谷寺大環正應禅師17回忌法要
	二十日(日)	日東夏祭り
五月	三日(土)	盆柵経
七月	五日(土)	盆大施餓鬼会
八月	一日(金)から	秋分の日 秋彼岸会
	十四日(木)まで	日東バザー
	十五日(金)	双葉会創立二十周年記念式典
九月	二十三日(祝・火)	永代供養墓「緑」供養会 午前10時から
十月	十一日(土)	水子供養会
	二十六日(日)	成道会(お釈迦様が悟りを開いた日)
十一月	一日(土)	除夜の鐘打鐘 午後11時45分から
	二十三日(祝・日)	
十二月	八日(月)	
	三十一日(水)	

新春 大般若祈禱会のご案内

今年も一年の無病息災を祈り家庭円満を願う大般若祈禱会を厳修します。今年法要終了後、コンサートがあります。また、無病息災を願つて、恒例の「大根炊き」「甘酒」を振るまいます。
【日 時】平成26年1月13日(祝・月)午前10時

第16回「芳桜茶会」のお知らせ

龍谷寺境内は桜花爛漫のところです。一服のお茶を気軽に楽しみください。
【日 時】平成26年4月5日(日) 午前10時から午後3時
【お茶券】前売り券は2月ごろから準備。一席500円、二席800円。当日は一席券のみ販売します。

【同時開催】写経奉納会、梅花流詠歌奉詠、芳桜子ども日本舞踊教室発表、芳桜会ピアノ教室発表、芳桜書道会展示

平成26年度 「梅花流全国奉詠大会」開催

【期 日】平成26年5月27日(火)から29日(木)
【会 場】島根県神前アリーナ

※詳しくは龍谷寺までお問い合わせください。 ☎0561(72)0012

龍谷寺では日本文化を継承していこうとさまざまな文化活動を行っています。皆様のご参加をお待ちしています。

◆芳桜書道会

毎週土曜日
午前10時から正午
午後2時から4時
本堂下客殿にて
月謝 大人3千円
小人2千5百円

◆写経会

【指導】安藤霜秋先生
毎月第3金曜日
午後1時から3時
午後2時から4時
本堂下客殿にて
志納料千円

◆梅花流詠歌を歌おう

毎月1回
午後1時から3時
本堂下客殿にて

◆芳桜茶道会

【指導】花柳東風香先生
毎週土曜日
午後1時から5時
心月庵茶室にて



発行所 雲興山龍谷寺
〒470-0102
TEL 0561(72)0012
FAX 0561(72)0232
愛知県日進市藤島町寺下甲29
発行者 成田隆真